

決 裁	議 長	局 長 等	次 長	リーダ－	担 当	合 議
						 

様式第6号(第8条関係)

令和6年8月29日

養父市議会議長 様

養父市議会議員

浄慶 耕造

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日 令和6年7月29日(月)～30日(火)
- 2 活動場所 石川県珠洲市上戸町北方一 珠洲市役所及び市内
- 3 活動目的 能登半島地震における珠洲市の被災状況の視察
珠洲市議会議員との意見交換
(議会BCPの視点、今後の復興課題と議員活動等)
- 4 活動内容 珠洲市役所にて珠洲市議会議長から能登半島地震における被害状況や復旧復興と避難者の現状について説明を受け、養父市議会からの質問テーマに沿って珠洲市議会議員との意見交換を行った。また、市内の状況を車で移動しながら視察した。

5 活動成果

大災害時、議員はどのように行動し、議会の機能をどのように守るのか。

石川県珠洲市は人口12,000人、高齢化率52%、少子高齢化が急速に進んでいる。ここを襲った震災は珠洲市で114人の命を奪い、5,468棟の建物に損傷を与えた。12人の市議会議員はその時どう動いたか。車中泊と自宅避難が5人、7人が避難所に行く。報告してくれた堺議員は「災害時の議員行動マニュアルはあったが、そのとおりにはいかなかった。高齢化が進む地域、避難所の責任者に議員がならざるを得なかった」「行政から発せられる情報を市民が理解するためには議員の力が必要だった」とも語った。

番匠議長の案内で被災現場を視察した。道の両側には屋根の落ちた家屋、大きく傾いた家屋が並ぶ。震災後約8カ月。あわただしい重機の動きを予想していたが、静かな「壊れた」風景があった。公費解体がまだ325軒、重機のオペレーターやボランティアが不足する中で、復旧に取り組みながら。人口流出を防ぐという課題を話された。伝統のキリコ祭りが行われることに話題を向けると、議長の口元は初めて緩んだ。

